



## 第4日目(7/18)現地3日目 八瀬とのお別れ・気仙沼高校交流vol1

vol2へ



### 八瀬のみなさんとお別れ

2日間お世話になった八瀬のみなさんとお別れです。コロナ禍の下、快くホストファミリーを引き受けていただき大感謝です。自宅や地元で採れた食材と、山の恵みでもある美味しい水で、心尽くしの食事を作っていただきました。ありがとうございます。

### 気仙沼高校との交流・防災ワークショップ

気仙沼高校生徒会・フェンシング部、そのほか多くの生徒の皆さんと交流し、東日本大震災を教訓に「なぜにげなかったのか」をテーマに「防災ワークショップ」を一緒にしていただきました。新たな気づきと、非常に勉強になるワークショップでした。そして、高校生同士非常に楽しそうに交流もしていました。



ホストファミリーへお礼



ホストファミリーへお礼



ホストファミリーと記念撮影



ホストファミリーと記念撮影



ホストファミリーと記念撮影



ホストファミリーと記念撮影

### 生徒たちのふりかえり(vo1)

vol2へ



#### 2年石渡

気仙沼高校に行き、気仙沼高校の生徒と交流をしました。意見を交流していく中で、気仙沼高校の生徒さんは一人ひとりしっかりした意見を持っていて東日本大震災が起こった瞬間やその後の状況を教えてくださいました。同じグループには東日本大震災が起こり、ボランティア活動をする親の影響で東京から宮城に引っ越してきた方もいました。そのようにボランティア活動をする決めて引っ越すという行動力が凄いと思いましたし、そういう行動力ができる人になりたいと思いました。自己紹介の後にはそれぞれ質問をして、宮城の方言を教えてもらったりして交流を深めることができました。その後は東日本大震災で避難しなかった人がいたのはなぜかということ話し合いました。気仙沼高校の生徒は東日本大震災で、私たちは大阪北部地震で被災してるのでその時にどこにいたかとかその後のライフラインの状況などを交流しました。改めて自分たちの日常は当たり前ではないことを実感しました。

#### 1年野口

今日は気仙沼高校へ行き、向こうの高校生とワークショップをしました。東日本大震災が起こった時、なぜ、すぐに避難しなかった人々がいたのかについてその理由を考え、交流しました。主な理由として周りの人に合わせたからなどの他人に流されてしまったものと、そんなに大したことはないだろうという過小評価などが目立ちました。また、気仙沼高校の方々から東日本大震災の経験談を聞かせてもらいました。東日本大震災が起こった当時、彼らはまだ幼稚園の年少さんや年中さんぐらいの歳であったにも関わらず、地震が怖いと思ったことやパニックになってしまったことなど、それぞれの状況の中で感じた心情など、様々なことを教えてくださいました。幼い頃の彼らでも狭いながら深く記憶に残っていることから、東日本大震災がどれだけ多くの人々に影響をもたらしたかを感じずには居られません。また、私は彼らに私自身が経験した、大阪北部地震での出来事について話しました。大阪北部地震での経験を彼らに話しながら、実際にこの地震が起きた時の自分の行動や思考の未熟さに気づいて今更ながらに酷く反省しました。それと同時に今後もし震災が起きたら決して過小評価せず、落ち着いて行動していくべきなのだと考えることが出来ました。今、口で言うことは簡単だけれど、いざ急に地震が起こった時は、なかなか今思っているように理想的には行動できないかもしれません。しかしながら、事前に考えておくことによって少しでも実際に震災が起こった時にスムーズに動けるようになると思うので、家に帰ってからも家族と改めてもう一度話してみたいと思います。

vol2へ

